

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 7 年 4 月 7 日

事務事業名		市営住宅等維持管理事務 (入居管理・入居募集事務)					事業区分		担当	
							新規/継続	継続	事務事業No.	050201000773
		政策体系上の位置付け					単独/補助	単独	所属課	060201 都市整備課
政策体系	総合計画の施策名	0502	景観の良い住環境の保全					課長名		
	政策名	05	快適な暮らしのまちづくり					グループ	整備・管理G	
	施策名	02	景観の良い住環境の保全					担当者名		
	手段名	01	①市営住宅の適切な維持・管理							
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	08	05	01	02	00	住宅管理事業			
法令根拠	公営住宅法・住生活基本法					単年度繰返し (平成17年度～)				
						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<ul style="list-style-type: none"> 市営住宅募集に関する事務 適正な入居に関する事務 適正な退去に関する事務 住宅の維持管理するための修繕に関する事務 災害復旧に関する事務 ○市営住宅一覧 (岩瀬地区) ますみ住宅、犬田住宅、寺前第1住宅、寺前第2住宅、桜ヶ丘住宅、御領北住宅、御領西住宅、鍛田住宅、金井住宅、東十枚住宅 (真壁地区) 桃山住宅、白井住宅、細芝第1住宅、細芝第2住宅、酒寄住宅	市営住宅の空家募集、入居の決定、退去の検査、空室情報作成 修繕箇所の現地調査、修繕工事の発注、施行管理 災害が発生時の対応・施設の復旧

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
市営住宅の空家募集、入居の決定、退去の検査、空室情報作成 修繕箇所の現地調査、修繕工事の発注、施行管理 災害が発生時の対応・施設の復旧	老朽化した公営住宅の修繕	件	88.00	177.00	100.00	100.00	100.00
	新規随時募集の周知	回	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・市営住宅を必要としている市民 ・市営住宅	桜川市の人口	人	36,794.00	36,120.00	35,356.00	34,734.00	34,112.00
	市営住宅戸数	戸	351.00	341.00	341.00	341.00	341.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
安心安全な住宅に入居してもらおう	市営住宅に入居している世帯数	世帯	200.00	197.00	200.00	200.00	200.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)	期間限定 総投入量
県支出金	千円	0	0	0				
地方債	千円	0	0	0				
使用料・手数料	千円	0	0	0				
その他	千円	0	0	0				
一般財源	千円	49,311	65,218	51,867				
事業費計 (A)	千円	49,311	65,218	51,867				
正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人				

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)			07年度事業費 予算 (千円)		
	10 需用費	13,598		10 需用費	7,609	
11 役務費	1,616		11 役務費	1,675		
12 委託料	4,744		12 委託料	19,532		
13 使用料及び賃借料	23,751		13 使用料及び賃借料	22,532		
14 工事請負費	21,329		14 工事請負費	175		
18 負担金補助及び交付金	8		15 原材料費	36		
21 補償補填及び賠償金	172		18 負担金補助及び交付金	8		
			21 補償補填及び賠償金	300		
		合計	65,218		合計	51,867

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
	市役所負担の住宅内施設の修繕については、逐一修繕依頼を行う。入居希望があった際は入居者要件を満たしているか確認しハウスクリーニングを行う。	市役所負担の住宅内施設の修繕については、逐一修繕依頼を行う。入居希望があった際は入居者要件を満たしているか確認しハウスクリーニングを行う。	市役所負担の住宅内施設の修繕については、逐一修繕依頼を行う。入居希望があった際は入居者要件を満たしているか確認しハウスクリーニングを行う。

事務事業名	市営住宅等維持管理事務（入居管理・入居募集事	事務事業No.	50201000773	所属課	都市整備課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 住宅に困窮する世帯に低廉な家賃で住宅を供給することを目的とし、戦後の住宅不足に対し開始されました。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ ・入居を希望する市民は、希望する住宅が、なかなか空かず入居するまでの待機期間が長い。 ・老朽化した住宅の修繕費予算が増え続けているので、議会より予算の縮減、ストック住宅の削減(取り壊し)を求められている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 快適な住環境の整備に結びついている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市営住宅は、住宅に困窮する低所得者に対して低廉な家賃の賃貸住宅を供給することで、生活の安定と福祉の増進に寄与することを目的に建設されたものであり、市の債務であるため。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 老朽化した住宅の用途廃止により管理戸数の縮減、維持管理費の削減により成果の向上が見込まれる。
有効性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 住宅に困窮する低所得者への住宅の供給ができなくなるため影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業がない
効率性	⑥事業費・人件費の削除余地（成果を下げずに事業費を削除できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 住宅の供給ができなくなるので削減はできない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 空き部屋があるため入居要件を備えていれば入居可能となっている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括（振り返り、反省点） 今年度の入居6件のうち、母子世帯が2件、高齢者世帯が3件内単身世帯が2件であった。現在の入居家世帯数200件のうち、高齢世帯が82件、母子世帯が59件となっている。令和6年度に単身世帯でも入居できる住宅数を4住宅増やす規則の改正を行った。規則の改正により1名入居																								
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上	コスト			削減	維持	増加		○					維持					低下			
成果	向上	コスト																								
		削減	維持	増加																						
	○																									
	維持																									
	低下																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 用途廃止住宅の老朽化が進んでいるが入居者いるため除却とならない。住宅の除却また土地の返還ができるよう入居者へ異動を促す。		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ②																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>